

30周年記念号

No.26

あかりたより

発行：2016年8月 発行者：社会福祉法人 あかりの家

題字：大和 茂樹（職員と共に）

30周年記念事業

来春、この地に
自閉症者専用グループホームが
オープンします！



新しく建設するグループホームは、平成14年から運営しているグループホーム『希望山荘日笠』の一軒隣に建てられます。この地は障害者に対して理解があり、恵まれた地域環境にあります。

あかりの家 トピックス

商工会議所会頭賞受賞



正木さんの「ぼくのパズル」が、高砂市美術展で、商工会議所会頭賞を受賞しました。アートクラブの安部武先生にご指導いただき、余暇時間に作った工作を貼り合わせたカラフルで楽しい、見ていて嬉しくなるような作品です。
先日、正木さんと一緒に、高砂市商工会議所に展示されている作品を見に行ってきました。

農園ブーム



約5年前、前庭のプランターでのミニトマト栽培から始まり、今年は、6種類の野菜作りをしています。自分で育て、自分で収穫し、自分で料理する。自分で食べる。やはり笑顔が出ますね。もちろん、人にも振舞います。

先日はAさんが仲間にトマトを配り、Bさんはトウモロコシをお母さんにプレゼントしました。

モニター付！



トモニ療育センターの河島先生の寄付でウォーキングマシーンを頂きました。山や街の風景を楽しみながら走れる、家庭用マシーンの中では最高ランク！のもの。
Sさんは、「テレビつけてえな」と言って自分から進んで歩くようになりました。Kさんは画面を見ながらニコニコして走っています。それぞれのやり方で大いに活用させていただいています。

全国デビュー

東京霞が関にて、第8回世界自閉症啓発デー2016・シンポジウムが開催されました。シンポジウムの最後に、プラグ作業を頑張る武市さんの「当事者メッセージ」が映し出されました！そのメッセージが、「いとしご」に掲載されました。

⑤ 兵庫県 武市頼和さん

あかりの家の武市です。

(ナレーション：ぼくはプラグ班で毎日働いています。精密な電気部品なので不良品は出せません。絶対にミスをしないように、プラグの向きを合わせるため、しっかりと手元を見ています。初めの頃は、集中することも難しくて、一日に500個が精いっぱいでした。毎日コツコツとがんばって、今では一日2000個を達成することができます。次の目標は一日3000個を作ることです。)

以上、ぼくの自慢の仕事です。



一般社団法人日本自閉症協会 機関誌「いとしご」No.158（2016.5.8発行）より転載

「絶対無理！」

あかりの家を通所利用しているNさんは、朝起きるのが苦手。朝起きるきっかけになれば、と近頃あかりの家で流行っているクロスステッチをお母さんと一緒に始めました。

初めは「絶対無理！何年もかかる！」と言っていたお母さん。続けるうちにNさんが自らしようとする姿を見て、「こんなこともできるんだ」「あの子がクロスステッチをするために早起きしているなんて！」と驚いたそうです。1日1時間、なんと4か月で作品は完成しました。職員からも「きれいだね！すごいね！」という言葉をかけられ、Nさんは穏やかな笑顔を見せてくれました。



「チャレンジ100」達成！

昨年度も「100日間無事故・無違反運動チャレンジ100」達成しました！2010年度から参加し始め、昨年度含め、6回中5回の達成となりました。（県下での達成率75%、あかりの家の達成率5/6=83%）

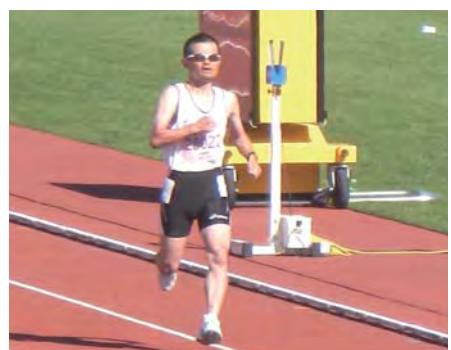


求人難！

これまでの求人方法では人が集まらず、目をつけたのが、某インターネット求人サイトで、利用し始めて3年目。ですが、それでも、なかなか…です。

全国大会で銀メダル獲得！

ワークホーム高砂の小南さんが全国障がい者スポーツ大会2015年の国わかやま大会に出場。800mの部で銀メダルを獲得しました！



なっこちゃん 粘り強く 拡販奮闘中!!

ワークホーム高砂

手作り納豆 なっこちゃんを作り始めてまもなく3年。1日の生産量が、当初、大豆4キロ、納豆約200パックだったのが、生産している利用者が自分の役割に責任を持ち、作業効率アップしてきたので、現在は6名で10キロ、約500パック作れるようになりました！

作業効率がアップしても、当初からのモットー衛生第一はしっかり守っています。



なっこちゃん 盛上げに 協力してくださっている皆さまを紹介します！！

発売以来長くご協力いただいているところに加え、保護者の方の行きつけの喫茶店が常連の方にお声をかけていただいたりして、なっこちゃんの盛上げに協力してくださっている方々が増えています！

スーパー YAMADA 阿弥陀店様



かふえだんだん様 姫路市野里寺



アトリエシエル様 姫路市白鳥台



デアイムオレンジ様 姫路市辻井



利用者による試食販売
スーパー YAMADA 青山店様にて



「この納豆やったら食べられるわ」や
「いつも買ってるよ」など
嬉しいお客様の声も届いています。

ご協力 いつも ありがとうございます

《協力していただいているお店や団体》

スーパー YAMADA 阿弥陀店・花田店・青山店・北野店様 かふえだんだん様 アトリエシエル様 デアイムオレンジ様
わかば学園様 ステップハウス様 晓乃里 グループホーム チャレンジ様 加古川カトリック教会様 五光精光園様
姫路福祉保育専門学校様 グループホーム 希望山荘日笠 グループホーム オリーブの家 あかりの家

合言葉は量から質へ

地域支援センターあいあむ

計画相談ただ今 453件!

昨年度より、障害福祉サービス等をご利用になっている方には「計画相談」支援が必須となっています。
地域支援センターあいあむでも、関係機関のご協力のもと、高砂市を中心にご依頼をいただいたほぼ100%の方に「計画相談」をお届けすることができました。
現在、あいあむでは合計 453人 の方の計画を立てています(平成28年6月現在)



計画書は「夢の実現」に向けての第一歩!



映画を見に行きたいけど…お母さんが高齢で一緒に行けないので諦めていました…。でも計画書に「移動支援で映画を見に行こう！」と書いてもらいました。1ヵ月後にヘルパーさんと一緒にアニメ映画にいけました。楽しかったです。また行きます！
(40代女性)



私も「移動支援」を初めて使って、夕食会（別名：合コン）に行きました♪ ビールも飲んで大人な時間を楽しみました。

次はカラオケに行く予定です。ヘルパーさんありがとうございます♡
(20代女性)



計画書に「働いて工賃を貯めるぞ～」と記載してもらい就労B型事業所を探してもらいました。働く場所が見つかって本当に良かったです。工賃を貯めて事業所の友達と阪神タイガースの応援に行くことがとても楽しみです。
(40代男性)

合言葉は量から質へ(^_^\)/

現在、相談員は7名♪、補助員2名の計9名。

相談員1人が受け持つ件数は多い人で150件を超えています。ご本人の「夢」や「希望」、「こうありたい暮らし」に耳を傾け日々の変化に対応していくため、フル回転で地域を走り回っています。(痩せませんが…)

業務内容はご本人・ご家族からのご相談や事業所さんとの調整。そして、計画案作成・計画作成。訪問!訪問!訪問…。

提出書類に追われながらも会議に出たり、サービス担当者会議を開いたり…。まさにばたばたの27年度でした。

とは言え、期限までに計画をみなさまに届けられるようにと、懸命に取り組みました。

さあ新しい年度の始まりです!相談員一同「量から質へ」の合言葉のもと お一人お一人の願いの実現を目指します!

高砂市障がい者自立支援協議会

みんなで考える地域づくり



事務局として皆様のサポート・地域取材に奮走中！

<http://wan-takasago.com/>

次の花を咲かせよう！

児童デイサービスあかりの家



保育園・幼稚園・学校へ



地域の事業所へ



児童デイサービス
あかりの家

あ～～満足！！

グループホーム オリーブの家

テレビが大好きな〇さん。仕事を終えてグループホームに帰ると、みんなと一緒にテレビを見ています。しかし、大好きな番組、例えば大相撲や生活笑百科など、ときに思うように見ることができません。好きな番組を誰かに替えられると、リモコンを奪い取るか、下を向いて口を尖らせ、ジーっと我慢しています。

そんな〇さん、入居されて2か月程経ったころ「テレビが欲しい」と言い始めました。これは良い機会ということで「お給料を貯めて買ったらどう？」と提案してみると、身を乗り出しながら、即答で「はいっ！」と元気な返事！

自閉症である彼が自分の気持ちを表してくれたことが、支援員として嬉しかったです。

お給料をもらったら、即、貯金貯金!!出納帳と一緒に覗き込み「これだけ貯まったよ～」と伝えるとニコリ嬉しそう。約1年でやっとお金が貯まりました！



先日、念願のテレビを買いに行きました。同行した私も一緒になつて嬉しくなるほどの、満面の笑み。グループホームに着くや否や、テレビと座椅子を両手に持ち、一目散に2階の自室へ向かいました。

ほとんど話しかけてくれもしなかった〇さんが「嬉しい！」と話しかけてくれたのです。驚きというか、私も同じ気持ちになりました！

それ以降、音量は10以下、21時以降は見ない。という約束を守りながら、念願のテレビライフを満喫しています！



成人期の事例～相談をおして～

ひょうご発達障害者支援センター クローバー

ひょうご発達障害者支援センターの昨年度の相談者の年齢区分は、19歳以上が53%と成人の相談が半数以上を占めている状態です。加えて、相談者の未診断の割合が1番高くなっています。病院等で発達障害という明確な診断を受けてはいないが、インターネットや書籍からの情報で、本人や周囲の人が発達障害を疑って相談に来る。ということが多いと感じます。未診断の相談の中でも、本人がひきこもり状態で、家族（主に母親）が相談に来所する相談事例が多々あります。

ここでは、未診断でひきこもり状態の息子を持つ母親の相談をひとつの事例として、その対応を簡単に紹介したいと思います。

<事例の概要>

20代（相談開始時）の息子が、ひきこもり状態を始めて約10年間。息子への対応に困り、知人から息子がアスペルガー症候群のような気がすると指摘され、母親が相談に訪れた。

息子の成育歴は、1歳半や3歳の健診での指摘は受けなかったが、おもちゃで遊ばずに電池を並べて遊んだり、叱った際に「出て行け」と言うと本当に出て行き、交差点で車を眺めていたことがあった。幼稚園や保育園では集団行動が苦手で、小学校や中学校に上がると、忘れ物や喧嘩をすることが多くあった。県立高校では登校しつりが現れ、通信制高校に転校し、卒業をした。その間に、窃盗で捕まり、保護観察処分も受けていた。卒業後は音楽の専門学校に入学したものの、2年目の夏までは順調に通っていたが、その後「辞める」と言い、母親の制止も聞かずに辞めた。その後ひきこもり状態になり、初回相談の4年前にパン屋の工場でアルバイトをしたが、半年で「免許を取るお金が貯まったので」という理由で辞め、家にいることが現在まで続いている。

アスペルガー症候群と合致する特徴としては
 「興味のあることはよく知っている」
 「自己中心的で耳障りな音に対しては敏感」
 と母親が息子について話していた。

相談開始時、息子は自分で食べたものは洗い場まで運び、洗ったりしていた。ときには、他の家族が置きっぱなしにしていた洗い物も洗ってくれることもあったという。一方で、息子がカッとなったら暴力を家族に振るうこともあり、息子と会うことすら苦痛に感じていたり、静かに過ごさないと息子の機嫌が悪くなるために気を張っていたりした。家族の全体の雰囲気として、息子との積極的な関わりをもたないようにしていた。



<相談経過>

まずは家族の関係性の改善を目的として、助言を続けている。

具体的には、次のことを伝えた。

- ・頭の中では息子に対して何を思ってもいいが、言動には出さないようにする
- ・積極的な関わりの一環として、雑談が難しいようなので、毎朝“挨拶”をすることから始める
- ・息子の希望を参考にする（食事の献立）
- ・息子が得意とする領域（家具の修理をすすんでやってくれる）では息子を頼る=自尊心が低下している状態であり、家の中にいるだけでは高めることも困難であるため、できしたことや、やってもらって助かったことを息子に伝えることで、まずは、家族が息子を褒めてあげ、息子のできる気持ちや自尊心を高めてあげる

母親は息子に対しての挨拶は続けられ「“普通の親子の感覚”があります」と気持ちの変化を語り、母親自身が息子に対しての頑なな態度があったことに気付いていた。クローバーでの相談に関しては、「ともすれば逃げてしまいたくなるけれど、ここに来ると“頑張らな”と思える」と動機を話してくれた。

今後の短期的な目標としては、息子が思うがままに話すのではなく、母親の質問に対しても答えるようになることを目標としている。また長期的な目標としては、本人がクローバーに来所するか、こちらが自宅を訪問することで、本人との直接的な相談ができ、家以外に居場所や所属先を見つけることを目標としている。

あかりの家 30年を迎えた

1980 昭和55年

*自閉症の子どもをもつ3人の母親が
自閉症者更生施設建設を呼びかけ



あかりの家 竣工式 (1986年)

1986 昭和61年度

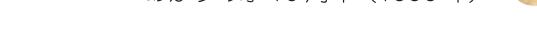
*あかりの家 設立・竣工式
*第1回あかり祭り 開催
*第1回親子旅行
姫路セントラルパークへ
*第1回もちつき大会
高砂あかるくする会協力



あかりの家 10周年 (1996年)

1987 昭和62年度

*さをり織開始
*就労第1号



1988 昭和63年度

*「あかりだより」創刊



親子1泊旅行 (1991年)
飛行機初利用で東京ディズニーランドへ

1989 平成元年度

*協同歯科(現生協なでしこ歯科)
検診開始



親子1泊旅行 (1991年)
飛行機初利用で東京ディズニーランドへ

1990 平成2年度

*印南養鶏開始



レインボーデイ (小グループ別日帰り旅行) (1991年~)



ネイルサロンや河床料理、料理教室、水族館など、
いろんなところへ出かけます

1991 平成3年度

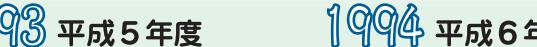
*レインボーデイ(小グループ別日帰り旅行)開始
32カ所にてかける
*作業棟完成
*さきおり班開始
*地域公園清掃開始



2000年から
公共交通機関を利用して
レインボーデイ実施

1992 平成4年度

*施設外作業形態(職住分離の導入)
*ナイスハートバザール開始
*クラブ活動の導入(華道クラブ開始)



*「全国自閉症者施設協議会」加入
*マスキ作業班開始

1993 平成5年度

*地域交流ホーム完成
*高砂マラソン初出場
*「高砂親子体操教室」開始
*第1回あかりの家事例研究会
*阪神淡路大震災に伴い、
職員派遣・被災者緊急一時保護受入
以降、短期入所本格的取組開始

1994 平成6年度

*「姫路親子体操教室」開始
*「先進施設現任訓練」(1週間)開始

1995 平成7年度

*「姫路親子体操教室」開始
*「先進施設現任訓練」(1週間)開始

1996 平成8年度

*10周年記念式典行事開催
*2フロアー制導入
*ゆうあい文化祭初出演

1997 平成9年度

*短期入所利用者1,000日超える

1998 平成10年度

*「第12回全国自閉症者施設協議会
兵庫大会」主管
*あかり喫茶、アートクラブ、音楽クラブ
始まる

1999 平成11年度

*「あかりの家四郷分場」開設
(姫路市四郷町)
*親子一泊旅行、飛行機初利用
(東京ディズニーランドへ)
*「新任研修プログラム」作成

次の10年は次頁へ

2005 平成17年度

*くすのき公園清掃開始
*ひょうご発達障害者支援センターに名称変更
*玄関ウイークデイ日中本格開設



あかり喫茶 (1998年~)



2004 平成16年度

*「強度行動障害者特別支援加算事業」開始
*「家庭療育支援講座」開始
(クローバー)



音楽クラブ (1998年~)



華道クラブ (1992年~)

2003 平成15年度

*「ワークホーム高砂」開設
*ひょうご自閉症発達障害支援センター
クローバー開設



アートクラブ (1998年~)

あかりの家四郷分場
(1999年~2002年)

2002 平成14年度

*四郷分場閉鎖
*グループホーム「希望山荘日笠」仲間入り
*パチンコ作業班・ハタ作業班開始
*「自閉症療育のキーワード集」発行
*幕内力士・夢龍関来所

地域交流ホーム (1994年完成)

2000 平成12年度

*西作業棟完成
*ケーブル班開始:職住分離進む
*「かくたつ療育研修」開始
*ホームページの開設、Eメール設置

みなさまに支えられた



あかりの家 約15年ぶりに“ばんたん・ゆうあい文化祭”に出演（2013年）



“はばたん”あかりの家を訪問、サンテレビで放映（2013年）

あかりの家の作業 2016年現在
プラグ班・さり班・ハタ班・
軽作業班・割り箸班・マスキ班利用者が作ったカレーをあかり祭りで
初めてお家の人に振る舞う（2014年）

発達障害支援スーパーバイザー養成研修受入れ始まる（2014年）

※法人内に正式に事務局設置
広島県へ泊旅行

2006 平成18年度

2007 平成19年度

2008 平成20年度

2009 平成21年度

2010 平成22年度

2011 平成23年度

※

4月 第29回高砂市美術展協会展で

※自閉症者施設サービス評議会開催

4月 月例会開催

3月 クローバー

4月 クローバー

4月 クローバー

※

5月 月例会開催

2月 ワークホーム高砂慰安旅行で京都吉本新喜劇へ

6月 個室化等居住改善事業実施

4月 月例会開催

1月 児童デイサービス事業開始

10月 あかりの家親子泊旅行で淡路島へ

※

5月 月例会開催

2月 ワークホーム高砂慰安旅行で京都吉本新喜劇へ

6月 個室化等居住改善事業実施

4月 月例会開催

1月 児童デイサービス事業開始

10月 あかりの家親子泊旅行で淡路島へ

※

5月 月例会開催

2月 ワークホーム高砂慰安旅行で京都吉本新喜劇へ

6月 個室化等居住改善事業実施

4月 月例会開催

1月 児童デイサービス事業開始

10月 あかりの家親子泊旅行で淡路島へ

※

5月 月例会開催

2月 ワークホーム高砂慰安旅行で京都吉本新喜劇へ

6月 個室化等居住改善事業実施

4月 月例会開催

1月 児童デイサービス事業開始

10月 あかりの家親子泊旅行で淡路島へ

※

5月 月例会開催

2月 ワークホーム高砂慰安旅行で京都吉本新喜劇へ

6月 個室化等居住改善事業実施

4月 月例会開催

1月 児童デイサービス事業開始

10月 あかりの家親子泊旅行で淡路島へ

※

5月 月例会開催

2月 ワークホーム高砂慰安旅行で京都吉本新喜劇へ

6月 個室化等居住改善事業実施

4月 月例会開催

1月 児童デイサービス事業開始

10月 あかりの家親子泊旅行で淡路島へ

※

5月 月例会開催

2月 ワークホーム高砂慰安旅行で京都吉本新喜劇へ

6月 個室化等居住改善事業実施

4月 月例会開催

1月 児童デイサービス事業開始

10月 あかりの家親子泊旅行で淡路島へ

※

5月 月例会開催

2月 ワークホーム高砂慰安旅行で京都吉本新喜劇へ

6月 個室化等居住改善事業実施

4月 月例会開催

1月 児童デイサービス事業開始

10月 あかりの家親子泊旅行で淡路島へ

※

5月 月例会開催

2月 ワークホーム高砂慰安旅行で京都吉本新喜劇へ

6月 個室化等居住改善事業実施

4月 月例会開催

1月 児童デイサービス事業開始

10月 あかりの家親子泊旅行で淡路島へ

※

5月 月例会開催

2月 ワークホーム高砂慰安旅行で京都吉本新喜劇へ

6月 個室化等居住改善事業実施

4月 月例会開催

1月 児童デイサービス事業開始

10月 あかりの家親子泊旅行で淡路島へ

※

5月 月例会開催

2月 ワークホーム高砂慰安旅行で京都吉本新喜劇へ

6月 個室化等居住改善事業実施

4月 月例会開催

1月 児童デイサービス事業開始

10月 あかりの家親子泊旅行で淡路島へ

※

5月 月例会開催

2月 ワークホーム高砂慰安旅行で京都吉本新喜劇へ

6月 個室化等居住改善事業実施

4月 月例会開催

1月 児童デイサービス事業開始

10月 あかりの家親子泊旅行で淡路島へ

※

5月 月例会開催

2月 ワークホーム高砂慰安旅行で京都吉本新喜劇へ

6月 個室化等居住改善事業実施

4月 月例会開催

1月 児童デイサービス事業開始

10月 あかりの家親子泊旅行で淡路島へ

※

5月 月例会開催

2月 ワークホーム高砂慰安旅行で京都吉本新喜劇へ

6月 個室化等居住改善事業実施

4月 月例会開催

1月 児童デイサービス事業開始

10月 あかりの家親子泊旅行で淡路島へ

※

5月 月例会開催

2月 ワークホーム高砂慰安旅行で京都吉本新喜劇へ

6月 個室化等居住改善事業実施

4月 月例会開催

1月 児童デイサービス事業開始

10月 あかりの家親子泊旅行で淡路島へ

※

5月 月例会開催

2月 ワークホーム高砂慰安旅行で京都吉本新喜劇へ

6月 個室化等居住改善事業実施

4月 月例会開催

1月 児童デイサービス事業開始

10月 あかりの家親子泊旅行で淡路島へ

※

5月 月例会開催

2月 ワークホーム高砂慰安旅行で京都吉本新喜劇へ

6月 個室化等居住改善事業実施

4月 月例会開催

1月 児童デイサービス事業開始

10月 あかりの家親子泊旅行で淡路島へ

※

5月 月例会開催

2月 ワークホーム高砂慰安旅行で京都吉本新喜劇へ

6月 個室化等居住改善事業実施

4月 月例会開催

1月 児童デイサービス事業開始

10月 あかりの家親子泊旅行で淡路島へ

※

5月 月例会開催

2月 ワークホーム高砂慰安旅行で京都吉本新喜劇へ

6月 個室化等居住改善事業実施

4月 月例会開催

1月 児童デイサービス事業開始

10月 あかりの家親子泊旅行で淡路島へ

※

5月 月例会開催

2月 ワークホーム高砂慰安旅行で京都吉本新喜劇へ

6月 個室化等居住改善事業実施

4月 月例会開催

1月 児童デイサービス事業開始

10月 あかりの家親子泊旅行で淡路島へ

※

5月 月例会開催

2月 ワークホーム高砂慰安旅行で京都吉本新喜劇へ

6月 個室化等居住改善事業実施

4月 月例会開催

1月 児童デイサービス事業開始

10月 あかりの家親子泊旅行で淡路島へ

※

5月 月例会開催

2月 ワークホーム高砂慰安旅行で京都吉本新喜劇へ

6月 個室化等居住改善事業実施

4月 月例会開催

1月 児童デイサービス事業開始

10月 あかりの家親子泊旅行で淡路島へ

※

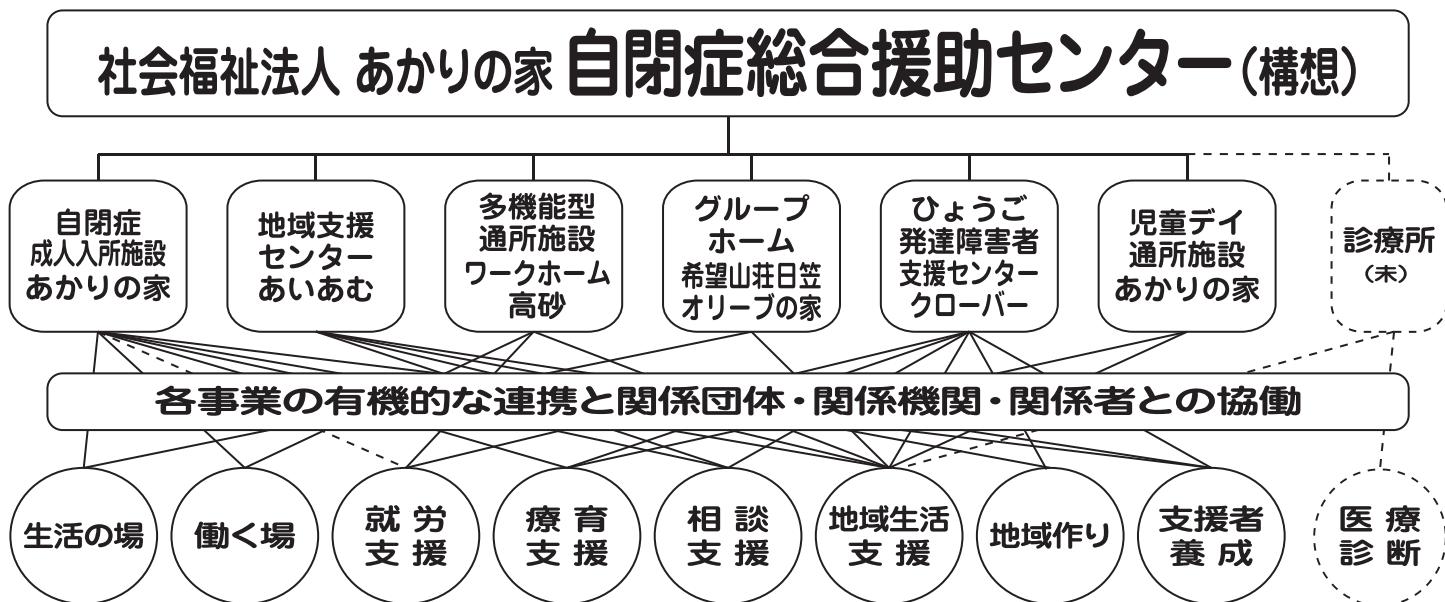
5月 月例会開催

2月 ワークホーム高砂慰安旅行で京都吉本新喜劇へ

6月 個室化等居住改善事業実施

4月 月例会開催

1月 児童デイサービス事業開始



<自閉症支援>をキーワードとした、法人内各事業所間の有機的な連携

発達障害支援 スーパーバイザー養成研修



自閉症協会と全日本自閉症支援者協会主催の、全国版のSV養成研修会。法人をあげて全国からの研修生をお迎えします。研修は5日間。2年で6グループ受けました。3年目の今年も計画しています。

ワークホーム高砂 通勤



あかりの家の入所利用のAさん、自転車で25分、雨の日も風の日も、ワークホーム高砂のクリーニング工場に通勤しています。一方、あかりの家通所利用のBさん、挑戦に挑戦を重ねて1年、現在、週1日は自宅からワークホーム高砂に出勤しています。
(週4日はあかりの家に通所)

印刷・製本アルバイト



発達障害者支援センタークローバーへ相談に来られているCさんには、「働く機会の提供」ということで、あかりの家事例研究会の冊子づくりに、アルバイトの形でご協力いただきました。

グループホームを支える



グループホームにも、時に専門的な支援が必要とされます。あかりの家の支援員が宿直する日は、比較的落ち着いた夜を過ごしていただけるそうです！

職員として採用



ワークホーム高砂に通所していたDさん、現在は入所施設あかりの家の職員として、洗濯・掃除補助員として働いています。

児童デイサービスあかりの家の発達支援事業を紹介



地域支援センターあいあむが「サービス等利用計画」を作成する過程で、より専門的な支援の必要性を感じた時、児童デイサービスあかりの家を勧めています。

あかりの家 自閉症療育のキーワード集(13)

「第22回あかりの家事例研究会」研究誌より

<実践の中で得たエッセンスをことば>にし始めて14年になる。以下、『第22回あかりの家事例研究会』('16.2)研究誌の「あかりの家自閉症療育のキーワード集16年度版」からの抜粋である。<SV>はあかりの家スーパーバイザーのコメント。

新1 ウエルカムボード

研修で「Nさんは手先が器用。クロスステッチをしてみては」と提案された。一作品目は手添えで3ヶ月かかった。

丁度その頃、お兄さんが結婚することになって、ウエルカムボード作りを思いついた。二流品は作りたくないとなると、技術アップが必要。手添えでの受け身ではダメということになる。

幸い、大好きな兄のことに加え、技術も上がって褒めてもらう機会が多くなった。意欲も見え始めた。「結婚式楽しみやね。喜んでくれるかな」と、気持ちを込めた話もできるようになった。

しかし、余暇時間に、それも変則勤務の中で細々と進めていたのでは、とても間に合わない。他の職員に迷惑もかける。諦めるしかないと思った。ところが先輩職員が、続いて後輩職員が応援に入ってくれた。スピードが上がり、半年で完成した。

「メッセージも添えよう!何書く?」と尋ねた。いつもはじっと職員を見て、言われる言葉を待つ彼女が、進んで「結婚おめでとう」と返してきた。“作らされた”クロスステッチではなかった!

おそらく、今まで誰かの為に何かをしようとする事はなかっただろう。それが、大好きな兄のために半年かけて“作ってあげた”ウエルカムボード!その場にいた先輩職員も私も目頭が熱くなった。

結婚式当日、彼女に付き添い参列した。新郎新婦も涙を流して喜んでくれた!

<SV> 半年かけて“本物”を作った。二流品ではダメ!

職員が動くと、利用者も変わってくる。心のひだが見えてくる。そういう付き合いが出来ると仕事がおもしろくなってくる。人の心を動かすことを考える!若い職員にもケースにも、この仕事の魅力を教えていく。

新2 「嫌われてもいい」(SV)

去年のキーワードで、SVから「嫌われたっていい。彼らが生きがいを持って暮せればいい訳で、その為に嫌われなければならぬなら、嫌われる事を嫌がってはならない。」と、極めて明快なコメントをいただき、頭がかなり整理された。

寒くなってきたある日のこと、薄着のHさんに、Ns. が「長袖着ておいで~」と声をかけた。すると、何やら怒ったように居室に向かって行った。後を追いかけると、予想通り、居室で「うー」と高い声を出している。声を掛けると部屋から出ていこうとした。

これまでなら「無理のないように」とその場を流していたが、その時は、「嫌われてもいい」のコメントに背中を押されて怒っている理由を何としてでも聞き出したかった。そこで扉の前に立ちふさがって、「出て行かんといで。ちゃんと話して。ボードに書いて」と迫った。

すると「いんふるえんざ」(体調不良の意)とボードに書いた。“風邪なんか引いてない。なんで長袖を着ないといけないんだ!”と私は読めた。

だから、「そうか、Nさんは元気やもんな。」と返し、そして「でもな、寒くなったから長袖着た方がいいよ、最近寒くなったからな~」と、ゆっくり優しく話をした。そして、ウンウンと頷き、落ちついで長袖を着てくれた。「よし! そうね~」と嬉しく声掛けした。

それからは、部屋から出て行こうとするのを無理やり止めても、しつこく聞いても、嫌な顔はされるが、私を避けることはなくなつた。

(15. 後藤)

新3 それぞれの整体 一個別性への気付きー

あかりの家では、週に1回整体の先生に来て頂いている。当然、診察台でじっとしてはならない。体を先生に任せられるリラックス状態も求められる。

ただ、付き添う支援員により利用者の状態に違いが出る。普段の付き合いの質で培われる「安心感」などであろうか。そしてもう一つは「個別性」への気付きである。

- ① Zさんは、窓から見える景色が刺激となり、起き上がろうとしまう。カーテンを閉めることでゆったり出来る。
- ② Nさんは、前かがみの姿勢になっている為に、背中がアーチ状に湾曲して、うつ伏せが難しい。そこで、お腹にクッションを挟む。すると随分ゆったり寝転べて体を任せられる。
- ③ Sさんは、足周りのマッサージが苦手。小刻みに部位を変えながら、1回1回細かくカウントしてたくさんの“終わり”を作る。そうすることで、見通しが出来やすく、一定時間体を任せることができる。
- ④ Bさんは、整体の後の予定を明確に伝えて、整体後の見通しがつくことでしゃべらずにゆったり出来る。
- ⑤ Cさんは、整体の先生と談笑するなどその場が明るい雰囲気になることで安心できる。
- ⑥ Dさんは、雑音のないピリッとした静かな環境の方が集中できて安心出来る。

(15. 岸本)

新4 お母さんとの手紙のやりとり

“お家への思いがあるなら、お母さんに手紙を書くのが良いのでは。返事をもらったりすると、お母さんとの繋がりがより強くなるよ”と、K先生からアドバイスを頂いた。

ただ、字も読めないので手紙を書く?隔週で帰省もしているし、違和感が先立った。まあそれでもと、手紙を書いた。

そして、お母さんから返事が来た。読み始めると、Nさんの表情はみるみる笑顔になった。Nさんは分かるんだ!

お家でも同じだった。「手紙届いたよ」と本人に見せると、とても喜んだと、お母さんが嬉しそうに話された。

Nさんは帰省前の待ち時間、不安定になることが多かった。そんな時、手紙のやり取りをしながら、お母さんとの関係を強めていけば落ち着いて待てるのではないかと思い始めた。そして、都合で帰省できない日でも、落ち着いて待てるようなことが見られ始めた。今も手紙のやりとりは続いている。

(15. 真鍋)

新8 結果を出してプレゼンする

「あかり利用者をワークホーム高砂(WH)に通わせたい」という思いから、新たな取り組みとしてXさんのWH実習を開始した。

実習に付き添って分かったことは、どの作業班に入っても一定の仕事はこなせるということ。しかし、自立的に作業が出来ないという大きな課題に直面し、撤退寸前に追い込まれた。

そんな中、「シーツ投入班」が最後の可能性として残った。

そして迎えた2015年1月、「失敗即断念」という最後のチャンスに、「一人前の大人にして、彼の出来る姿をWH職員に見せたい。他の利用者に負けない作業量を叩き出したい」との緊張感・高揚感を持ってシーツ投入実習を開始させてもらった。

①立ち位置(体幹の固定)②シーツの取り方・持ち方③機械に合わせるテンポ、以上3点を徹底的に身体に叩き込むことをねらいとした。一切無駄な声掛けはしないことを意識して、「はい!」「いま!」「ここ!」リズムよく声掛けすることに集中した。

①立ち位置はズラさせない。下半身の動きに着目し、「ちがう!」「そう!」ズレたら手を添えて修正。②上半身の動きに着目し、シーツは決められた箇所を持たせる。シーツを取る・投入する動きは、同じ動きを繰り返させる③機械が下りてきたら「はい!」と大きな声で声掛けして、機械の動き方を教えた。約1時間、鬼気迫る声掛けで付き添った。

「よし!できる」と手ごたえを感じ、距離を離して、その働く姿をWH職員に“プレゼン”し、残りの時間をWH職員に託した。実習を終えたこの日、私は何とも言えない高揚感・充実感・疲労感があった。本人も同じ気持ちだったんだろう。

「一度教えたたら次から必ずできる」そんな確信も持った。その後、数回の実習と協議を経て、2015年7月より正式にWH利用者として契約してもらった。

(15. 前阪)

あかりの家イロイロ情報局

短期入所事業・日中一時支援事業

行動上の問題や、家庭のご都合などで、一時的に施設をご利用いただけます。昨年度は、自閉症の方を中心に延べ3,040日の利用がありました。



くるみんマーク取得

次世代育成支援対策推進法の基準に適合する事業所として、「兵庫労働局」より2015年4月15日付で認定されました。

障害児等療育支援事業

在宅障害児（者）及び家族を対象とした相談・療育を行う事業です。当事業では専属のスタッフがご相談をお受けします。ご相談をお受けした後に療育担当職員が以下のような支援をいたします。

I：お宅にお伺いしてご相談をお受けします。

II：あかりの家に来ていただいて、ご相談をお受けします。

III：通所施設、学校、保健所などにお伺いしてご相談をお受けします。（施設支援一般指導事業）

療育相談

お気軽にお電話ください!!

TEL 079-254-3292

FAX 079-254-3403

亀山まで

姫路親子体操教室

お母さんが、子どもの身体に働きかけながら、バランスある受容と主導の力をつけ、親と子のくよい関係を作るために応援もしております。

ワークホーム高砂 手づくり納豆

ワークホーム高砂では、手づくり納豆を製造・販売しています。お馴染みのなっこちゃんに、新しくしそのり納豆が加わりました。お客様からご好評をいただいている手づくり納豆。是非ご賞味ください。



自閉症専門図書・VTRの貸出

あかりの家では、自閉症に関する専門図書、ビデオを約400冊保有し、希望する方に貸し出しています。

あかりの家 さをり班

ナイスハートバザール

今年もアスパ高砂の協力を得て、オリジナリティ溢れる商品を販売いたします。また、さをり織りの実演、体験もしていただけます。是非とも足をお運びください。

日時：12月10日（土）・11日（日）

場所：アスパ高砂 セントラルコート



地域交流ホームの開放

あかりの家では、地域福祉の活性化のために、地域交流ホームを、障害のある方たちの活動や、ボランティアグループの会議などにご利用いただき、施設と地域との交流の場として開放しています。

販売・出店

是非お立ち寄りください。

販売所：高砂駅前観光案内所ちちり

ヘアーサロン采（アヤ）

出店：東はりま県民局チャレンジショップきずな

社会福祉法人 あかりの家の状況（H27年度）

（社会福祉法人 あかりの家 利用者状況）（平成28年4月1日現在）

あかりの家 〈施設入所 定員40名、現員40名（男32名、女8名）〉
〈生活介護 定員40名、現員47名（男38名、女9名）〉
ワークホーム 〈定員40名、現員47名（男37名、女10名）〉
グループホーム 〈定員14名、現員11名（男9名、女2名）〉

1. 出身別利用状況 高砂市（35） 加古川市（22） 姫路市（15） 播磨町（6） 加東市（1） 神戸市（9） 尼崎市（2） 小野市（2） 県外（3）
2. 年齢 あかりの家 最年長61歳、最年少20歳、平均 施設入所44.7歳 生活介護42.1歳
ワークホーム 最年長80歳、最年少19歳、平均 就労B型32.9歳 生活介護39.7歳
グループホーム 最年長80歳、最年少30歳、平均49.4歳

編集後記

去年はあかりの家の記事を担当させていただき、園長から「センスがないの」と散々言われ「来年は担当を外してください」と約束していたのに…。なんと30周年という記念すべき年に編集長に任命されてしまいました。やるしかない（笑）30周年の歴史を読み返して、これまでの歩みがあるから今があることを実感しました。来年の4月には新しいグループホームも開設され、これから何十年とあかりの家が発展し続けていくよう、周りへの感謝も忘れずに頑張りたいと思います。

文章の構成等々、勉強になったことが沢山ありました。今回のあかりだよりで、私のセンスも磨かれたはず??です！（ひ）

社会福祉法人 **あかりの家**
自閉症成人施設 **あかりの家**
児童デイサービス **あかりの家**
地域支援センター **あいあむ**
知的障害者通所授産施設 **ワークホーム高砂**
グループホーム **希望山荘日笠**
グループホーム **オリーブの家**
ひょうご発達障害者支援センタークローバー

T671-0122
兵庫県高砂市北浜町北脇504番1 TEL(079)254-3292 FAX(079)254-3403
URL <http://homepage2.nifty.com/akarinoie/>
T671-0122 高砂市北浜町北脇504番1 TEL(079)254-3292 FAX(079)254-3403
E-mail akarinoie@nifty.com
T671-0122 高砂市北浜町北脇504番1 TEL(079)254-3292 FAX(079)254-3403
T671-0122 高砂市北浜町北脇504番1 TEL(079)280-3740 FAX(079)254-3403
E-mail aiaamu@mbr.nifty.com
T676-0081 高砂市伊保町中筋1331 TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111
E-mail workhome@nifty.com
T676-0082 高砂市曾根町1704-4 TEL(079)447-3136 FAX(079)447-3136
T676-0082 高砂市阿弥陀町魚橋375-16 TEL(079)439-7183 FAX(079)439-7183
T671-0122 高砂市北浜町北脇519 TEL(079)254-3601 FAX(079)254-3403
URL <http://auc-clover.a.la9.jp/> E-mail auc.clover@nifty.com